



かいた病院だより

第6号

発行 本田宜久
編集 広報委員会
連絡先 TEL 09496-2-2131

「もうすぐ完成」



まだまだ寒い日が続きますが、昨年6月の着工以来、ようやく建物全景がみえて参りました。駐車スペースの減少や、病院内への仮設通路からの出入りなど、皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、今しばらく、ご協力をお願いします。

敷地内全面禁煙のお知らせ

平成15年5月からの「健康増進法」施行にともない、病院や学校、官公庁など、多数の人が利用する施設において、禁煙等の措置を講ずるよう法制化されました。

当院では、病院敷地内に喫煙所を設置し分煙方式により喫煙対策を行ってきましたが、ご来院、ご入院の皆様方の健康維持・増進を考えた結果、敷地内すべての場所における禁煙が望ましいと考え、新病院移転と同時に病院敷地内全面禁煙とすることにいたします。

新病院へ移転と同時に実施します。



シリーズ 語る 第6弾

家庭医療センター開設について

家庭医療とは、日本ではまだまだ一般的な存在ではありませんが、アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリアなど多くの国々では非常にメジャーな存在です。いわゆる内科、婦人科、皮膚科など各臓器に分かれた診療ではなく、小児から高齢者まで、患者さんの性別・年齢・臓器にとらわれない、総合的な診療を行う、いわゆる「かかりつけ医」といわれている分野です。

当院でも開院当初より、積極的に家庭医療に取り組んでおり、昨年11月に新病院移転に先駆けセンター化いたしました。家庭医のみならず、多職種と連携し、患者さんの地域での生活を守りながら医療、看護を提供します

《センター長よりひとこと》

市立穎田病院から博愛会穎田病院に移譲を受けたのと同時に、2008年飯塚穎田家庭医療プログラムが始まりました。私は一期生としてプログラム開始と同時に研修を開始しました。当初家庭医として未熟だった私も、穎田病院の皆様の支えの中で少しずつ家庭医としての実力をつけていくことが出来ました。そして3年後の昨年2011年7月に試験を受け、晴れてプライマリケア専門医（家庭医療の専門医）となることが出来ました。試験はCSAといって模擬患者さんに対して15分間の診療を行う非常に実践的なものでした。

よく「先生の専門は何ですか？」と聞かれることがあります。家庭医療は、特定の臓器・分野を専門とする医療ではありません。しかし、唯一専門と言えるものがあります。それは『穎田・その周辺の地域、そしてそこに住む住民の方』、それが私たちの専門であると自負しております。そのために必要な病棟診療・外来診療・在宅診療を通じて地域医療を守っていきたくと考えています。

家庭医療センター長

医師 大杉 泰弘



2011年4月 家庭医療プログラム終了式にて

院内ウォーキング

～栄養管理部紹介～

私たち栄養管理部は、食事の面から疾病治療をサポートし、安全で患者様に満足していただけるような食事を提供しています。また患者様個々に応じた栄養管理、栄養指導を行っています。

今回は**管理栄養士**の仕事の一つである、**外来栄養指導**についてご紹介します。

栄養指導と聞くと…「〇〇を食べるのをやめてください」「食べ過ぎです。減らして下さい」「カロリー計算をして下さい」などと言われるのではないかと連想される方がいらっしゃるかもしれません。

食事は生きていく上で楽しみの一つであり、食生活は一人ひとり異なります。身についた食生活を変えることは容易ではありません。

栄養指導では、まず患者様から食事の内容や習慣、嗜好などをよく聞くようにしています。その後で患者様の症状にあわせて具体的に食事をどのようにすればよいのかをお話しします。そして患者様自身にどのように改善できるか、どうしたら長続きできるかを考えてもらい、実行してもらうようにしています。また「〇〇はダメ」という「ダメダメ指導」ではなく、どの程度であれば食べてよいのか目安量などを示し、具体的な指導を心がけています。

外来栄養指導の一環として「**糖尿病食体験**」を行っています。
栄養指導後に、実際に糖尿病（1400kcal）の食事を召し上がっていただきます。（糖尿病の患者様に限ります。）

時間：平日 11時～（1時間程度）

予約：栄養指導の前々日の午前中まで

実際に糖尿病食を食べられた患者様から「おいしかった」「実際に食べる量が分かるのでよい」「自分が食べている料理と比較できる」などのご意見をいただいています。

食事の事でお困りの方、糖尿病の患者様で実際に糖尿病食を召し上がられてみたい方などいらっしゃいましたら、お気軽に主治医、スタッフまでお尋ね下さい。

文責 管理栄養士 廣永あずさ



時事通信

テーマ：“軽いタバコ”は健康にいい？

最近、低タール・低ニコチンのタバコの宣伝が目につきます。健康志向の高まりで低タール商品の人気が高いのでしょうか。本来は病気のために禁煙しなければならないのに、“軽いタバコ”を吸っているからと言い訳をする人もいます。

しかし、タバコの箱に表示してあるタールやニコチンは、タバコ1本に含まれる量ではないことに注意が必要です。各銘柄の包装に表示されたタール・ニコチン量は、ある一定の条件下で機械が吸引した煙を分析した値なのです。実際にタバコ1本に含まれるニコチン量は6~7mgもあり、喫煙で約1~3mgが吸収されるという報告があります。

“軽いタバコ”であっても、体に入る有害物質は期待するほど減りません。“マイルド”とか“ライト”という、一見からだによさそうな言葉にだまされないように！

(日本呼吸器学会 HP より抜粋)

臨床検査部 長崎 雅春



診療科のご案内

診療時間 午前8:30~午後5:00(月曜から金曜)
 午前8:30~午後0:30(土曜)
 受付時間 午前8:30~11:30、午後1:00~4:30(月曜から金曜)
 午前8:30~11:30(土曜) ※眼科を除く

	月	火	水	木	金	土
内科 8:30~12:30 14:00~17:00	本田 大杉 胡 加藤(午後)	吉田 安藤/尾田 大杉/金城 柏木(午後)	加藤 茂木 藤井 胡/江本(午後) 萬代(第2週)	小田/檜田 胡/本田 本田(午後)	本田 井村 加藤 茂木(午後)	当番制
小児科 8:30~12:30	大杉	大杉	大杉 岩元 (飯塚病院)	加藤	加藤	
整形外科 14:30~16:30		非常勤 (飯塚病院)	入来 (再診のみ)		非常勤 (飯塚病院)	
外科 8:30~12:30	長家					
耳鼻科 8:30~11:30		非常勤 (九大)			非常勤 (九大)	
眼科 12:00~15:00				非常勤 (福大)		

平成24年2月現在

二月に入っても、インフルエンザが猛威をふるっています。国立感染症研究所の発表によると、昨期を越す勢いのようになっています。特に今シーズンにはA香港型が9割を占めており、高齢者の割合も多いそうです。最近の薬はよく効くようですが、すぐに解熱することもあり、体が七日間ほど無理に残っており、無理して学校や仕事場へ行くこと、ウイルスをばらまくことになり、決して無理をしないように。(M)

＜お問い合わせ先＞
医療法人博愛会 穎田病院
 住所 福岡県飯塚市口原 1061-1
 電話番号 09496-2-2131 (代表)